

国際コーチ連盟日本支部
(ICF Japan)
運営委員募集要項
2018年版

2018年11月25日



一般社団法人国際コーチ連盟日本支部

目 次

1. 運営委員の目的.....	3
2. ボランティアスタッフ行動指針	4
3. 運営委員のミッションステートメント	5
5. 運営業務を行うために運営委員に必要なスキル.....	6
6. 運営委員としての資格要件・欠落事項	6
7. 運営委員の公表と機密保持.....	7
8. 任命・活動期間.....	7
9. 具体的な活動.....	7
10. 運営委員としての活動の御礼	7
11. 応募・選考方法とスケジュール.....	7
(別紙) 2018年 国際コーチ連盟日本支部 組織図	8
(別紙) 職務範囲記述書 (Job description)	9

1. 運営委員の目的

運営委員は国際コーチ連盟日本支部のミッションとビジョン、プランに基づき、目的を達成するための活動を自ら支えます。その活動の中には補助としてサポートして下さるフレンズの収集及びケアも含まれます。より多くの人や組織を巻き込み、国際コーチ連盟の理念が浸透し、コーチングが人類の発展繁栄に寄与するための活動を行います。

(参考) 国際コーチ連盟日本支部代表理事 新年の御挨拶 Greeting from the President より

2014年は、国際コーチ連盟日本支部（ICF ジャパン）がコーチングの業界団体として大きな一歩を踏み出した年でした。

グローバルな視点からコーチングの情報を伝えるイベントを中心に、インターネットでの情報提供など、これまで以上に積極的な活動を行いました。また内部的には運営に関わるメンバーでの合宿開催など、ボランティアとして関わるメンバーがモチベーションを高く持って働ける環境構築にチャレンジしました。

2015年、ICF ジャパンは「世界標準のコーチングを日本に届け、コーチングを社会の共通言語にします」をビジョンステートメントとし、コーチング業界内部に向けての情報発信にとどまらず、コーチングを採用する個人や企業にむけての情報発信を積極的に行い、コーチングという言葉や手法がこれまで以上に広く社会に浸透することにチャレンジしていきたいと思っています。

今年も引き続き、会員の皆さまにとって有益且つ楽しめるコンテンツ提供ができるよう努力してまいります。

2. ボランティアスタッフ行動指針

1. 感謝の心

ICF ジャパンは金銭的、物質的な報酬を一切受け取らない善意のボランティアにより運営されています。運営に携わる全てのボランティアスタッフは日常の仕事や生活の中から大切な時間を捻出し活動に参加しています。お互いの貢献に敬意を表し、感謝の気持ちで接しましょう。

また、このICF ジャパンの活動資金は、会員からの会費及び、善意の寄付により成り立っていることを理解し、感謝の気持ちを持って大切に活用しましょう。

2. 公益性の追求

ICF ジャパン単体でのメリットや利益を考えた活動ではなく、業界全体が広くメリットを感じることが出来る活動を優先して行い、参加していただける方を一人でも増やす努力をします。

また働くボランティアスタッフの中で業務量が増え、一人でこなせなくなったときは早めにそのことを周知し、支援を求め、全員参加型の団体運営をしましょう。

3. 多様性の容認

ICF ジャパンは出身コーチングスクール、出身国、専門分野などを問わず、広くコーチとコーチングに興味のある個人、団体を受け入れる団体でありたいと願っています。ボランティアスタッフはそれぞれの出身スクールや専門分野において利己的に活動することを慎み、全員のことを考えた活動を行い、業界全体の発展のために活動します。

4. コーチとしてのコミュニケーション

ICF ジャパンのボランティアスタッフは、ICF コア・コンピテンシーと倫理規定を守り、コーチであることを意識した会話を行いましょう。ICF ジャパンのボランティアスタッフは笑顔と笑いに溢れる、前向きな気持ちでのオープンなコミュニケーションをし、人を傷つける言葉、行動を控え、思いやりを持った会話をしましょう。ボランティアスタッフ同士の笑顔と笑いに溢れるコミュニケーションは、スタッフ同士の士気を高め続けるだけでなく、会員、顧問に対しICF ジャパンの風土の魅力を強く印象づけ、参加意識や帰属意識を高めます。

5. 公平性

ICF ジャパンの運営に関わる全てのボランティアスタッフは、尊敬を持って友情に結ばれた公平で居心地の良いメンバーシップを維持することに務めましょう。それは、一人一人が自由に発言できる場を創り、新しいアイデア、新しい意見、新しい発見を尊重し、場に対するそれぞれの貢献によって成り立ちます。

6. 新しいチャレンジ

新しいアイデアで業界を活性化させることに真剣に関わり、これまでの日本のコーチングの習慣にも囚われることなく、前例のない活動をも勇気を持って推進します。また、ボランティアスタッフの新しい提案をお互いに祝福し、応援し、協力し合うことを誓います。

2013年7月29日制定

3. 運営委員のミッションステートメント

運営委員は、以下のミッションステートメントを遵守することが求められます。

私たちは、国際コーチ連盟が定める核となる能力水準（コア・コンピテンシー）及び国際コーチ連盟によるプロコーチの倫理規定の理想に沿った規範に基づき、判断と行動を致します。

*求められる行動指針につきましては、「ボランティアスタッフ行動指針」をご参照ください。

4. 役割を遂行するために運営委員に求められる資質

運営委員は、その役割を遂行するために、以下の資質が求められます。

(1) 倫理性

- ① 個人的動機ではなく社会貢献動機にもとづいていること
- ② 機密保持などの基本的な倫理を守ること
- ③ 特定組織の利益を優先しないこと

(2) 対人態度

- ① 他者に対する肯定的態度
- ② 建設的に良い物をつくっていかうとする学習的態度
- ③ 他者に学習意欲を促す態度
- ④ 自己の意見に固執しない態度
- ⑤ 自由で真摯な場を形成する態度

5. 運營業務を行うために運営委員に必要なスキル

(1) 専門能力

- ① コーチングについての基礎知識
- ② コーチングの進め方についてのプロセス認識
- ③ ICFのコア・コンピテンシー、倫理規定、ICFのミッションについての理解
- ④ 様々なコーチング手法への関心と理解、好奇心
- ⑤ ICFの資格認定、団体認定の最新プロセスに関する知識

(2) 対話能力

- ① 仮説や見解の明確な表現
- ② 他者の仮説や視点についての傾聴力とその態度
- ③ 仮説や見解の交換、融合、転換についての柔軟性
- ④ 意図や背景を理解、明確化するための質問、インタビュー能力

(3) 論理構成力

- ① 仮説や見解、意図の簡潔で平易な表現
- ② 全体と部分との論理的整合
- ③ 全体最適を考えた思考プロセスの整理と再構築

6. 運営委員としての資格要件・欠落事項

(1) 資格要件

運営委員は、責任と役割に応じて以下の要件を満たす必要があります。

<運営委員>

1. 国際コーチ連盟 (ICF) メンバーである
2. 国際コーチ連盟日本支部メンバーである
3. 運営委員倫理規定・機密原則に同意している
4. 国際コーチ連盟日本支部、あるいは各グループのミーティングの日程を最優先で確保できる
5. Eメール、facebookでのコミュニケーションを充分に取れるとともに、電子データの取り扱いに関するリテラシーを充分に有している
6. ボランティアスタッフに求められる行動指針を理解し、遵守することを承認している
7. 運営委員に求められる資質、必要なスキルを満たしていると判断される

7. 運営委員の公表と機密保持

運営委員の氏名は、運営委員任命後に運営委員であることを国際コーチ連盟日本支部のホームページ上で公開します。なお、運営委員としての活動で得た情報で他組織への指導・コーチング・コンサルタント業務を行うことは禁止します。

8. 任命・活動期間

運営委員としての任命・活動期間は2018年10月1日～2019年7月31日までとします。

9. 具体的な活動

別紙、組織図と職務範囲記述書（Job description）に基づき、何れかのチームに所属し、担当理事の管轄の下、運営活動を御願ひしています。

10. 運営委員としての活動の御礼

国際コーチ連盟日本支部の運営委員の活動は、業界の発展を支えるためのボランティア活動であり、会員はその活動のための資金を会費として納入しています。運営委員の活動は高い能力とともに、人格面での高い倫理性と。個人的利益よりも使命遂行を優先するというボランティア精神の上に成り立っています。従って、その活動自体への御礼はありません。ただし、活動に必要な特別な支出につきましては、担当理事の承認の上で実費をお支払いいたします。

11. 応募・選考方法とスケジュール

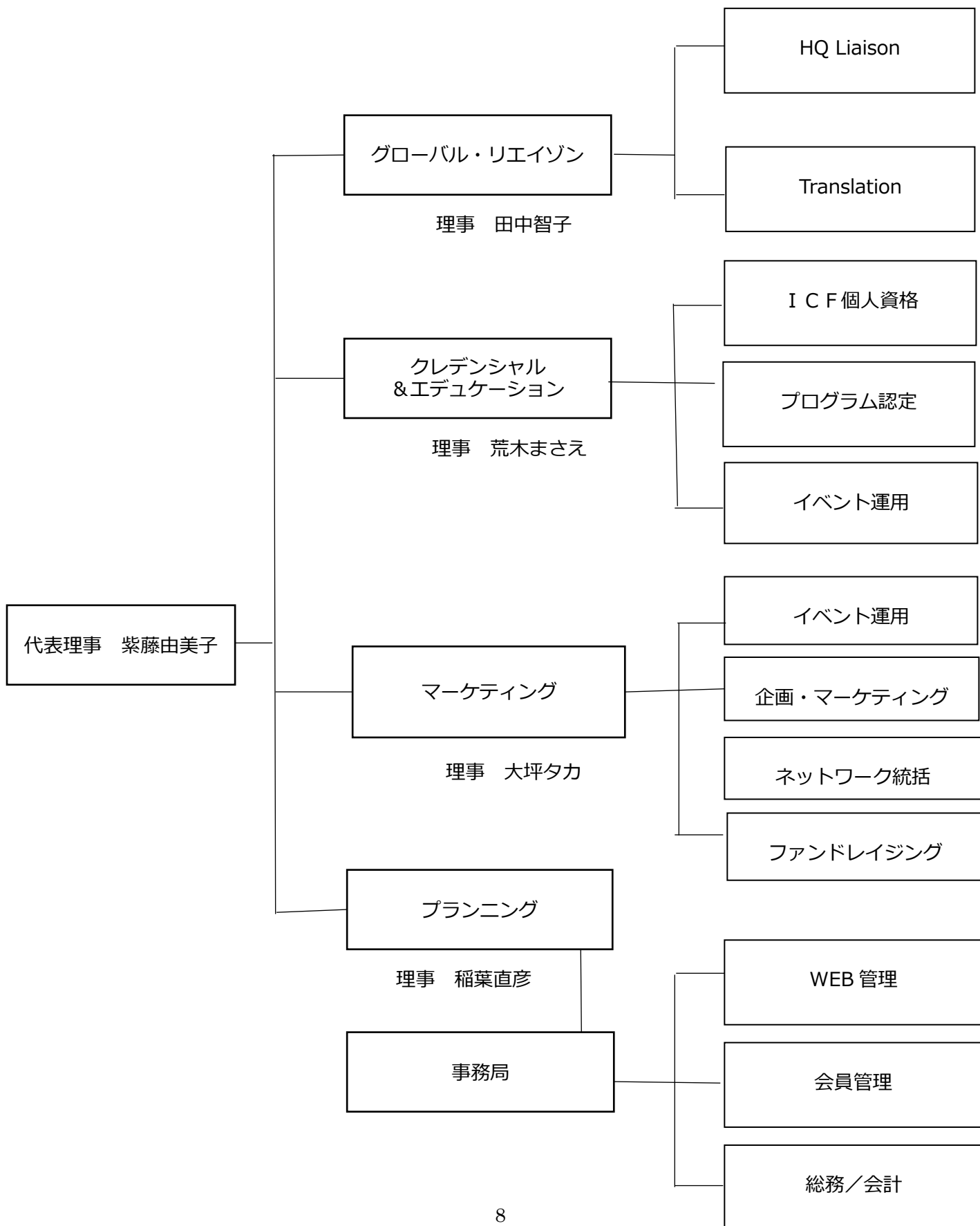
(1) 応募・選考方法

まず、運営委員応募前に資格要件に該当しているか確認してください。運営委員の応募は2018年12月1日より開始します。応募者は国際コーチ連盟日本支部のホームページまたは理事に応募の意思を伝えます。その後、2018年12月に理事会で検討の上、選考結果を通知します。

(2) スケジュール予定 (2017年)

運営委員の応募	2018年12月1日より開始
運営委員選考	2018年12月
倫理規定・機密保持 遵守誓約書記入	2018年12～2019年1月
運営委員キックオフイベント	2019年1月

(別紙) 2017年 国際コーチ連盟日本支部 組織図



(別紙) 職務範囲記述書 (Job description)

(グローバル・リエイゾンチーム)

ICF 公認チャプターとして「わかりやすく正確な情報発信」を目的とし、以下の活動を実施します。

1. グローバルに展開される各種スタディーグループやミーティングに参加して情報の取得
2. 日本支部の情報のグローバルへの発信
3. 他国や他支部とのネットワークの構築
4. グローバルに発信される英語情報を日本語化(リサーチレポート/ICF Coaching World 記事等)

(クレデンシャル&エデュケーションチーム)

ICF が発行する資格(ACC/PCC/MCC ACTP/ACSTH/Portfolio)の普及拡大に向け、以下の活動を実施します。

1. 資格取得に係るサポート
 - ・ HQ のウェブサイト情報の日本語化
 - ・ 情報の追加・変更・更新を日本語化
 - ・ 情報発信(メールマガジン・ウェブサイト等)
2. 資格に関するお問い合わせサポート
 - ・ HQ 担当者との連絡、確認
 - ・ お問い合わせの回答・返信
3. ICFJ 公式サイト内の FAQ 充実化
4. 資格説明会の開催(年 5 回を予定)
5. ICF 倫理規定とコア・コンピテンシーの啓蒙、教育
6. コーチング学習の場の提供
7. CCEU 発行イベントの開催
 1. Coaching in English Group (2 CCEU/回)
 - ・ 英語による ICF コア・コンピテンシーの学習と実践
 - ・ 年4回、10月、2月、5月、8月開催予定
 2. ICF ジャパン勉強会 (1.5~2 CCEU/回)
 - ・ 日本語による ICF コア・コンピテンシーの学習と実践
 - ・ 年 5 回、11月、1月、4月、5月、7月開催予定
 3. その他イベント(コーチングプラクティス、コーチングウィーク等)
8. コーチ照会サービスの充実
 - ・ ICF 公式サイトにおける ICF 会員および法人パートナーのプロフィール照会ページの充実

(マーケティングチーム)

ICFJ の活動の国内の組織団体やプロコーチ及びプロコーチ養成スクールに向けたマーケティング活動を以下の通り実施していきます。

1. ICFJ アンバサダー制度の企画立案
 - ・国内の地域展開を目的にした、ICFJ アンバサダー制度の企画立案
 - ・ICFJ アンバサダーの育成
2. 国内外法人パートナー、コーチング団体との提携の強化
 - ・法人パートナーとの戦略的連携の推進
 - ・国内コーチ養成スクールやコーチング団体との連携強化
3. イベントの企画・運営の実施
 - ・コーチング・コンバージや他団体とのコラボ企画等
 - ・コーチングの普及や啓発を目的としたイベントの企画・運営
4. ニーズ調査と活動への反映
 - ・ICFJ へのニーズ調査や活動への反映
5. ファンドレイジング、会員拡大の実施
 - ・上記の活動を通じたファンドレイジングや会員数拡大施策の実施

(プランニングチーム)

国内外の諸情勢を鑑みて、国内におけるコーチ業界のあるべき姿を策定し、ICFJ の中長期的な方向性を策定します。また、その実現に向けたマイルポストを設定し、各チームが実施する施策との整合を図り、その進捗をモニタリングすることで PDCA サイクルを回していきます。

1. ICFJ 国内中長期事業戦略の企画立案
2. ICFJ 年間事業計画の企画立案
3. 重点施策の進捗管理
4. ICFJ 内チーム横断での各種プロジェクトの企画推進
5. 各種会議体の企画運営
6. 事務局との連携
7. 各種特命事項対応